



一中だより

7月号
令和元年7月1日
小平市立小平第一中学校

■学力は向上しているか？

校長 栗林昭彦

現在の生徒会本部役員の皆さんが新たに役員になった際、「あなたたちの代で、特に力を入れて取り組みたいことは何なの？」と尋ねてみたところ、「しっかり学習に取り組む一中生を目指したい」という答えをもらいました。実に立派な志で、頼もしく思ったものです。さて、そんな役員の皆さんの発案で、試験前の一時期、「自習教室」なるものを開設しています。生徒会役員の運営で教室を開放し、生徒の自習の機会としようというものです。これは個人が静かに自習に取り組む図書室での学習と、生徒間の教え合いの機会も保証する、つまり黙々と学習するのではないけれど、自主的に学ぶための教室での学習の2カ所に分かれて行うものです。



実際に実施してみるまでは成果をいぶかしむ声も少なからずありましたが、3学期、今回と2回の試験前の取組を見ますと、参加する生徒達の意識の高さがうかがわれるものとなりました。図書室では、友達との会話も一切しないで真剣にノートに向かう生徒の姿が見られ、教え合いを可とした教室では、互いに教え合い学び合う生徒達の姿が見られました。たとえば、数名の生徒が黒板に図を書いたりしながら、社会や理科の問題について「なぜそうなるのか」を協議している。納得できる答えもあれば、どうも理解できないこともある。中には平行線になることもある。そういうときは「この部分については先生に確認してみようよ」と互いに了解しあう。そんな姿が見られていたとのことでした。(残念ながら私はその場にはいませんでした)

今月は東京都の「学力向上を図るための調査」を2年生が行います。この調査が始まった当時、調査の結果を東京都の地図に当てはめたものが雑誌に載り、学校現場が大混乱に陥ったことがありました。〇〇市は都で何番という数字が一人歩きをし、不動産屋さんまでがその資料をもっていたといいます。もちろん現在はこの調査の結果は公表されませんので、そういう混乱こそ起きませんが、やはり結果の数字を見て「できる区市」「できない学校」のような序列化をする傾向が全くなかったとはいえません。

次の学習指導要領のキーワードとして、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)が言われるようになってきているということは以前にもお伝えした通りです。私たちは、知識を覚え込んでそれを再生するだけではない、思考力や判断力、さらには学びに向かう態度といったものを子どもたちに身に付けさせてやらなければいけない時代になっているということです。授業もテストも、そういった考えに基づいて日々改善していかなければならないし、様々な調査も、これらを客観的に適切に図る指標となることが求められていると言えます。

さてそんな中で、私は今回の自習教室における本校の生徒の様子について考えます。ただ覚えるだけでなく、自ら問いを立ててそれを考えること。さらには友達との議論を通してそれを深めていこうとすること。これこそ「主体的・対話的で深い学び」の場面だったのではないかと思います。もちろんその前提には日頃の教科の授業があるのだという自負はありますが、生徒自身でその境地にたどり着いたということは、様々な調査の結果には直接は表れないかもしれないけれど、誇るべき学力向上の場面であったと思っています。

今後はこれを教科の授業の中で、意図的なものとして展開していけるようにしていくことが私たちの課題だといえます。とはいえ、こういう場面を、しかも生徒会のアイディアで設けた場で発現させ得たことは、小平一中生の素晴らしいさだだと思います。

■ラグビーから学ぶ

生活指導主任 伊藤 聡

体の大きな選手が、これでもかというくらいぶつかり合って、危険がつきまとうラグビー。激しくぶつかり合って、国と国が戦うことがあっても、最後はノーサイド（NO・SIDE）。敵味方は関係なく、ラグビーに携わるみんなが仲間である。そんな文化がラグビーにはあります。今年はそのラグビーワールドカップが日本で開かれます！！

ラグビーには、「ラグビー憲章」という心構えのようなものがあります。そこには5つのコアバリュー（大切な要素）があり、その中に『規律 discipline』『尊重 respect』があります。規律を守る、互いを尊重する、そのような意味です。それがラグビー！

話は変わって小平第一中学校。今年の学校生活で大切にすることは『①時間を守る生徒 ②公共の場所に通じる生徒』この2つです。昨年度から先生たちで話し合っただけで決めたことで、具体的に言えば、授業準備をしてチャイム着席、廊下は走らない、服装は・・・など様々なことが考えられます。では、なぜその様なことをするのでしょうか？ブラック校則なる言葉が聞かれるようになった昨今、一中のルールは何のために作られているのでしょうか？

生徒のみなさんは学年が違うから、クラスが違うからなど関係なく、同じ学校に通う仲間です。違う価値観の人もいますが、みんなで気持ちよく生活したいものです。そこは諦めたくないかと私は考えています。一中に通っている全員が、さらには一中に携わる人全員が、居心地よい場所になって欲しい。多くの人がNO・SIDEとなって、過ごしやすい生活を送って欲しいそう考えています。

多くの人と関わる中で、成長していける自分を感じ取られる中学校生活、そして中学校を卒業してから自分の中によいものが残っている、そんな中学校になったらいいと考えます。「この決まりは何のためにあるのだろう？」そんな視点を大切にしていきたいと思います。



■7月の主な予定

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	4
1	月※			○	○	○	○
2	火	保護者会(1)		○	○	○	○
3	水※	保護者会(3)		○	○	○	○
4	木	学力向上を図るための調査(2)		○	○	○	○
5	金	保護者会(2) 復習確認テスト(3)		○	○	○	○
6	土						
7	日						
8	月※	面談期間始 保護者会(I組)	保護者会	○	○	○	○
9	火			○	○	○	○
10	水※	避難訓練		○	○	○	○
11	木			○	○	○	○
12	金	各種委員会		○	○	○	○
13	土	土曜公開日 セーフティ教室		×	×	×	×
14	日						
15	月	海の日					
16	火			○	○	○	○
17	水			○	○	○	○
18	木	クリーンキャンペーン		×	×	×	×

19	金	終業式					
20	土						
21	日						
22	月	学習補充教室始 I組教室始 夏季水泳指導始					
23	火	緊急初動訓練					
24	水	I組教室終 中学校生徒美術展始					
25	木	成績一覧表予備調査					
26	金	夏季水泳指導終					
27	土						
28	日	中学校生徒美術終					
29	月						
30	火						
31	水						
9月の予定		2(月)始業式 一斉引き渡訓練					
		3(火)給食始 6(金)後期生徒会役員選挙					
		10(火)各種委員会 13(金)面談期間終					
		14(土)土曜授業日(公開なし)					
		18(水)、19(木)中間考査 20(金)各種委員会					
		24(火)～27(金) 職場体験(2) 25(水)～27(金) I組 宿泊教室					

※放課後学習教室実施日